

れど、みんな協力してげきを出れたことがうれしかった。練習中はみんなきんきんとしてドキドキしました。「オレちびるん」のところははずしかけたけど、みんなが笑ってくれたのでうれしかった。みんなに見てもくう事が楽しかったです。4年一組のきずなは成功したと思います。またみんなでげきをしたいです。

たくさんあったセリフをよく覚えまじたね。本当によくがんばりました。練習を重ねるたびにみんながどんどん上達したので、もううれしくなりました。やっぱりやればできるんだな、ということもあきらめず最後までがんばろうね。みんなの力はすごいと思います。

劇を学ばないと、やっぱり人に劇を覚えて学ばないと、やっぱり人に劇を覚えることができない。わが国や、劇を学ばないと、やっぱり人に劇を覚えることができない。わが国や、劇を学ばないと、やっぱり人に劇を覚えることができない。

いふことですね。伝えるって大事だね。どう伝えられるか、自分が思うだけでは伝わらないから、どんなふうに伝えて、どんなことを伝えたいかを考えなくてはだね。

四年一組のきずな

私はこのげきは、一人でも欠けたら成り立たないげきだと思いました。げきの題名は、「四年一組のきずな」だから、四年一組全員が作り上げるげきだと思いました。私は、きずなの意味を国語辞典で調べてみました。意味は「たち切ることのできないつながり」。タブレットでも調べてみました。一人と人との断つことのできないつながり。

はなれがたい結びつき。だからこそ、どちらでも言っていることは同じで、たち切ることのできないつながり。大切につなぐということ。だと分かりました。教頭先生が、きずな、四年一組を選んだ理由は、たぶん、団結力のある4年一組なり最高のげきができると思う。だからだと思えます。なので、期待をうら切らないようにがんばりたいと思います。

世界に何億といる人間のなかで、出会った人。ほんとにほんとにこれは、きずなに近づくことです。そんな出会いを大切にそして、つながり、団結力、そんなことをげきから学ぼうと思います。